

平成 29 年 期（2017 年 8 月 1 日～2018 年 7 月 31 日）取組実績

2 社員の受診率向上（※○は取り組んでいる項目）

登録期	企業名	社内 情報 発信	受診 勧奨	勤務 体制 整備	受診 費用 支援	その 他	具体内容
第 1 期	アフラック	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・定期健診の受診を義務付けるとともに、定期健康診断の受診と同時にがん検診を受けられるようにすることで、受診率アップと利便性向上を両立するよう工夫。 ・健診日程を上司や同僚間で共有し、「忙しくて行けない」といった理由で受診ができないことがないよう、互いに業務フォローをする仕組みを構築。 ・平日に受診する場合、検診時間を勤務扱いとし、交通費を支給。 ・健保組合機関誌内で、がん検診受診を促す特集記事を掲載。 ・未受診者へ受診勧奨はがきを送付。 ・社員とその配偶者の人間ドック(がん検診含む)の日世を健保にて負担。 ・35 歳未満の乳がん・子宮頸がんの健診費用は全額会社にて負担。 ・35 歳以上は人間ドックの受診時における検査オプション補助費用を、男子性より 1 万円(4.8 万円)することで、乳がん・子宮頸がんの検診費用の負担を軽減し受診を促進。 ・がん検診は、厚生労働省の指針(対策型健診)にある年齢、回数を超えた社員を対象としている(肺・胃・大腸は 35 歳以上は年 1 回、乳房は 30 歳以上年 1 回、子宮頸部は① 20 歳以上の女性は 2 年に 1 回、② 35 歳以上の女性は年に 1 回)
第 1 期	株式会社イトー				○		<ul style="list-style-type: none"> ・社員の子宮頸がん検診の費用の会社負担
第 1 期	第一生命保険株式会社	○	○				<ul style="list-style-type: none"> ・定期健康診断の全受診とともにがん検診未申込者に対して定期的に受診勧奨している。 ・毎月の衛生委員会にて受診状況を確認している。
第 1 期	株式会社中国放送	○	○				<ul style="list-style-type: none"> ・社内掲示板、イントラネット等でがん検診の受診 PR。
第 1 期	西川ゴム工業株式会社						
第 1 期	日本管洗工業株式会社	○					<ul style="list-style-type: none"> ・一般定期健康診断の際にがん検診の受診を促している。
第 1 期	株式会社広島銀行	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診に特定せず、所管部より定期的に人間ドックの受診案内を実施。 ・人間ドックにおける乳がん・子宮がん検診の受診案内を実施。 ・人間ドック等受診のための特別休暇等の整備。 ・人間ドック等受診費用の一部補助、乳がん・子宮がん検診費用の全額補助の実施。 ・移動 CT 肺がん検診の実施。
第 1 期	広島信用金庫	○	○		○		<ul style="list-style-type: none"> (継続実施) ・人事部および健康保険組合より社内メール等を通じ、全職員に対してがん検診の受診勧奨を行った。人間ドック、がん検診の受診費用の支援。 ・がん検診の未受診者に対しては、人事部より所属長を通じて受診勧奨を行った。
第 1 期	株式会社フレスタ	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・社内に啓発ポスターの掲示。 ・対象年齢の女性従業員に対し、受診費用を会社が負担。 ・ピンクリボンアドバイザー初級 21 名が取得。
第 1 期	プレス工業株式会社	○	○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・週報で胃・大腸がん検診受診勧奨。 ・女性(45 歳以上)へ乳がん検診受診勧奨。 ・健保によるオプションがん検診費用負担。
第 1 期	株式会社みづま工房		○				<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診未受診者に対し、総務部員より直接本人へ受診勧奨し、受診率 100%を目指した。
第 1 期	株式会社メンテックワール D	○	○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・春の健康診断で必ずがん検診を受診するよう促した。 ・春の健康診断で B、C 型肝炎検査を 35 歳以上の協会けんぽ加入者へ会社負担で受診。 ・バリウムがどうしてもできない社員に対し全額会社負担で胃カメラ受診を行った(継続)。 ・乳がん検診を女性社員と男性社員の配偶者を全額会社負担で実施(継続)

登録期	企業名	社内 情報 発信	受診 勧奨	勤務 体制 整備	受診 費用 支援	その 他	具体内容
第1期	株式会社もみじ銀行	○	○		○		・日帰り人間ドック受診案内を社内文書や季刊誌で案内。 ・オプションのがん検診を季刊誌で案内。 ・日帰り人間ドック受診料軽減。35, 40, 45, 50, 54 歳は受診料全額を健保組合が負担。 上記以外の年齢で35歳以上の希望者は健保組合が9割負担。
第1期	株式会社リマックプラス	○	○				・社員のがん検診の経験(主婦の時、子宮がん検診のクーポンの入手について、役所に連絡したらがん登録を紹介され、クーポンを入手することが出来た)を共有した。 ・がん検診に行かない理由を考え、話し合った。
第2期	株式会社オガワエコノス	○	○	○	○		・胃がんの原因とされるピロリ菌検査を実施(全従業員)。 ・健診後に要再検査の人に啓発。再検査の日は特別休暇付与。再受診率100%。 ・ピロリ菌検査、生活習慣病予防検査の費用は、すべて会社負担。
第2期	住友生命保険相互会社	○	○	○	○		・「Team がん対策ひろしま」参加企業として、従業員あてに趣旨をPRし、受診勧奨を行っている。 ・制度として、該当年齢時に人間ドック費用負担および該当年齢外でも費用一部負担があり、積極的な受診推奨を行っている。
第2期	社会保険労務士法人たんぽぽ会		○				・健康診断時に、社内ではがん検診受診を促した。
第2期	広島トヨペット株式会社	○					・主要マーカーの種類及び検査費用を社内展開
第2期	株式会社福屋		○		○		・健診後の事後措置において、がん予防や早期発見・治療の重要性を指導。 ・40, 50代の女性従業員が毎年乳がん検診を受けられるよう、婦人科検診対象外の年の従業員に対し会社で費用の一部負担する案内を配布。 ・がんスクリーニング検査の実施と説明会を検査センター担当者を招いて実施。
第2期	株式会社福山臨床検査センター		○	○	○		・社員希望者の子宮頸がん・乳がん検診の実施(費用は会社負担)。 ・従業員の都合に合わせて健康診断の日程、時間割を調整している。※勤務時間内に受診させている。
第2期	復建調査設計株式会社		○	○	○		・35歳以上の全役職員を人間ドック対象者とし、「受診手続」および「費用負担」(胃・肺・大腸は本人負担部分を全額会社負担。子宮頸・乳[オプション]は本人負担部分を受診者で負担。)を会社が行うことで、受診促進に繋がり、社員の負担軽減に努め受診率の向上に努めている。 ・オプションの子宮頸・乳がんについて、検診対象者にメールで個別に受診勧奨を行った。
第2期	マツダ株式会社	○	○	○	○		・2017/10/25 社外専門家医師による健康講演会を開催「乳がんの早期発見、早期治療の重要性」。・安衛法の定期健康診断項目にがん健診項目(胃 Xp, 便潜血, 子宮頸, マンモグラフィ)を追加※費用は健保負担。・50歳, 54歳, 58歳時には定期健診をドック健診とし、胃カメラ, 腹部エコー等を追加。また、肺ドック, 脳ドック, 腫瘍マーカーを本人希望、自費で同時実施(就業時間扱い)できる体制としている。
第2期	三菱ケミカル株式会社			○			・がんに限らず社員が私傷病治療を受ける場合の制度を設けている。
第2期	明生印刷有限会社		○				・女性従業員に対し婦人系がんの受診勧奨。
第2期	株式会社ユニバーサルポスト		○	○			・受診勧奨の呼びかけを代表取締役以下役員により、しつこく行っている。 ・時差出勤制度がいつでも利用可能である。
第3期	株式会社ウメソー		○	○	○	○	・年1回の健診を実施・がん検診も義務化(40歳以上は、該当年齢時に人間ドックを実施)。また、検診結果の提出を義務化(パートも実施)費用は全額会社負担・健診時間は勤務中でも可とする。 ・未受診者については、総務より再奨励。 ・「要再検査」該当者については、上限1万円で補助を行う。
第3期	株式会社大之木ダイモ	○	○		○		・がん検診の受診日や受診機関に関する情報提供を行った。 ・がん検診推進員による受診勧奨を行った。 ・乳がん検診の費用を会社が補助し、社員の自己負担軽減を図った。

登録期	企業名	社内 情報 発信	受診 勧奨	勤務 体制 整備	受診 費用 支援	その 他	具体内容
第3期	小田億株式会社		○				・総務財務部より全従業員に検診時の受診勧奨を行った。
第3期	オリンパス株式会社	○	○	○	○		・35歳以上はオプションで胃がん、大腸がん検診、女性は乳がん、子宮がん検診できる事の情報提供。受診料の一部費用負担、勤務時間帯の受診可能な体制。
第3期	三興化学工業株式会社	○	○				・定期健康診断の際に、検診機関の協力の下でがん検診も併せて実施し、受診をすすめる社内掲示を行っている。
第3期	太洋電機産業株式会社	○	○	○	○	○	・正社員のみならず、パートも含めて全員に健康診断を年に一回実施。 ・一般的な内容だが、がん検診を含める。 ・勤務時間内で全員受信。都合の悪かった対象者には別途検針日を設ける。 ・費用は会社負担。 ・結果を産業医と相談して、要観察者等に再検査を促す。
第3期	中国エンジニアリングサービス株式会社		○		○		・定期健康診断にがん検診項目を組み込んでいる。 ・定期健康診断で胃カメラ検査を推奨し、費用も会社が負担。
第3期	中国醸造株式会社		○				一般検診時に胃がん・肺がん・大腸がんの検診を検診メニューに組み込み受診させている
第3期	ツネイシカムテックス株式会社	○	○	○			・ポスター掲示。 ・健康診断時にオプションで受診を呼び掛けている。 ・健康診断受診時のオプションについては出勤扱い。
第3期	株式会社データホライズン	○	○				35歳以降の社員に実施している、人間ドック受診時に、がん検診のオプションを推奨。個別に受診日時の希望を聞く際にオプション項目について積極的に周知し受診を促進。特に女性への女性検診については個別に予約の有無を問い合わせ人間ドック受診時にあわせて受診できることを呼びかけた。対象者の受診率は今年度70%以上を達成した。
第3期	三井住友海上火災保険株式会社	○					・Teamがん対策から配布いただくチラシの社内配布。
第3期	淀鋼商事株式会社		○	○			・定期健康診断受診時に付加検診として、ピロリ菌・前立腺ガン・CEA検査を案内し実施した。 ・勤務体制を整え、受診勧奨の実施。
第4期	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社		○	○	○		・健康保険組合が外部委託機関への委託により総合健診を実施。 ・健診対象者へは、会社で実施日を決定し全員受診を促す。 ・健診費用について、健康保険組合が全額負担。
第4期	株式会社RCC文化センター	○	○		○		・がん検診の未受診者に対してここに受診勧奨を行う。 ・35歳以上の従業員に対して、腫瘍マーカー検査を定期健診と同会場にて個人負担無しで実施しているので、積極的な受診を呼びかける。
第4期	有限会社サンアロー		○	○	○		・がん検診の受診を促した。 ・受診費用は会社にて負担。
第4期	長岡商事株式会社			○	○		・総務が、受診予定を立てて、本人と相談の上、受診を促進。受診費用を負担し、受診しやすい環境づくりを実施。
第4期	中吉エンジニアリング株式会社	○	○	○			・社内回覧実施。 ・毎年健診受診の際に呼びかけ。 ・勤務時間中の受診許可。
第4期	株式会社バルコム				○		・会社の健康診断とは別に、2年に1回の子宮頸がん検診の費用を会社負担として受診促進を図っている。(継続)
第4期	福山通運株式会社	○	○	○	○		・県内事業所にごがん検診啓発ポスターの掲示。また、社内メールにてがん検診の受診勧奨。 ・就業時間内に受診できる様、勤務体制等の整備の実施。 ・女性のがん(乳がん・子宮頸がん)のどちらかの検診費用の補助。
第4期	富士メディカル株式会社		○				・検診費用の一部を負担
第4期	株式会社プリンスホテル	○	○			○	・健保組合主催 大腸がん 子宮頸がん郵便検診を実施した。 ・健康診断時にオプションとして、血液によるがん検査を実施した(肺:24名、胆のう・膵臓、肝臓、胃・大腸:各25名、前立腺:18名、卵巣・子宮:15名)また便キットの大腸がん検診は136名。 ・健康診断に胃バリウム検査を追加した。 ・人間ドックの受診勧奨:7名

登録期	企業名	社内 情報 発信	受診 勧奨	勤務 体制 整備	受診 費用 支援	その 他	具体内容
第4期	株式会社プレスシード		○		○		・健康診断の受診費を従業員負担分を実費から全額会社にした ・年齢に応じてがん検診の受診も促し行わせた。 ・上司からの声掛けなどを行い、ひとり一人に受診を促しました。
第4期	株式会社ベルアージュ		○				・定期健診での同時受診の推奨
第4期	みずほ証券株式会社		○	○			・定期健康診断の受診時間を予約することによって、業務を計画的に消化し定期健康診断を受診できる体制を整備しています。また、定期健康診断には肺がん検診(胸部 X線検査)と大腸がん検診(便潜血検査)が内包されています。
第4期	株式会社やまだ屋	○	○	○	○		・社内会議、安全衛生委員会等を通じてがん検診の啓発。 ・検診バスによる受診、みなし勤務等。 ・がん受検対象者への助成金の支給。
第4期	リコージャパン株式会社	○	○		○	○	・従業員だけでなく、家族を含めて受診率向上を目指す。 ・がん検診後のフォロー、二次検査の受診を促進